
学校臨床の新展開

— ⑳スクールソーシャルワーカーが足りない —

浦田 雅夫

京都造形芸術大学

石を投げれば

法曹家養成の専門職大学院である法科大学院は年々受験生が減り、淘汰が進んでいるようです。今では、珍しくなくなりましたが、大学別の司法試験合格者数ランキングもよくできましたね。「アメリカでは、石を投げれば弁護士かカウンセラーにあたるって言うんだわ」とアメリカ帰りの人に聞いたことがあります。日本ではまだまだ、石を投げても弁護士あたる感はありませんが、ずいぶん増えた気はしますね。2014年3月末時点での、弁護士数は35,045人です。この10年で1万人以上増えています。「ワーキングプア弁護士」の出現など、「大学院は出たけれど、司法試験には受かった

けれど・・・」、という生活困窮の弁護士もちらほら聞きます。一方、心理カウンセラーを代表する資格として臨床心理士は、2014年時点で、29,690人です。こちらもちまた、この10年で1万人以上増え、弁護士と相似形の伸び率となっています。こちらの方は、長年にわたり現在進行形で「国家資格化」大キャンペーン中ですが、何度となく国会の解散とともに見事に泡と消え去っています。いったい、どうなることやら。

スクールカウンセラー導入20年

さて、今年は学校現場にスクールカウンセラーが導入されて20年の節目

です。「黒船」にたとえられたスクールカウンセラーの導入でしたが、いまや事件が報道されるたびに、「緊急で心のケアを行うスクールカウンセラーの派遣が行われる予定」というのがセットで報道されるようになりました。学校には必要不可欠と認識されるようになってきたようです。スクールカウンセラーの任用要件は、当初、臨床心理士のほぼ独占状態でしたが、最近では学校心理士や臨床発達心理士といった他の学会認定資格者等についても任用する自治体も増えてきています。

足りない

スクールソーシャルワーカー

一方、こころの問題だけではなく、困難な社会構造的な貧困問題や被虐待環境下による育ち等を背景とした非行問題、複数の課題を有する家族など支援が難しい多様なケースが顕在化するなかで、近年、ますます福祉的な支援を行うスクールソーシャルワーカーへの期待が高まっており、2014年には国によって2019年までにスクールソーシャルワーカーを1万人に増やす目標も掲げられました。スクールソーシャルワーカーの任用要件はこれまで文部科学省は「スクールソーシャルワーカー活用事業実施要領」のなかで、「社会福祉士や精神保健福祉

士が望ましい」としていましたが、実際には臨床心理士や元教員など多岐に渡っていました。そこで、2014年度末に日本社会福祉士会と日本精神保健福祉協会は文部科学省あてに連名で、スクールソーシャルワーカーやスーパーバイザーの任用要件を社会福祉士や精神保健福祉士とすること、スクールソーシャルワーカーの常勤採用化の推進などについての要望書を出しています。これは、同年秋に同会が文部科学省あてに出した「子どもの貧困対策を総合的に推進するための要望」の再確認事項でもありました。文部科学省では、これらを受け、2015年度から「スクールソーシャルワーカー活用事業実施要領」を一部改正し「スクールソーシャルワーカーの選考は、原則として、社会福祉士や精神保健福祉士等の福祉に関する専門的な資格を有する者のうちから行うこと。」としています。ただ、これでは人材不足となるためただし書きもあります。「ただし、地域や学校の実情に応じて、福祉や教育の分野において、専門的な知識・技術を有する者又は活動経験の実績等がある者」ということです。しかし、原則＝福祉専門職となったことにより、今春、各地ではスクールソーシャルワーカーの人材確保が難しくなったようです。なかには大卒即スクールソーシャルワーカーになった方や高齢者福祉現場等異分野からの学校現場への参入なども当然ながらあり、「こんな若い人に・・・」「福祉専門職と言っても・・・学校の

ことは素人」という学校側の声も聞かれ、いま、ひとり職場で苦境にいるスクールソーシャルワーカーも少なくはない模様。スーパービジョン体制の確立を強く望みます。

「社会福祉士」という資格

「社会福祉士」の資格に対して「あの資格しんどい思いをして取ったのに何にも意味がないのですよ。」という人に最近、複数出会いました。2015年に実施された第37回社会福祉士国家試験の合格率は27%。他の国家試験と比べると低い合格率。受験資格にはさまざまなパターンがありますが、一番多いのは福祉系の大学生の受験者です。同じ国家資格でも保育士や介護福祉士（すでに国家試験化は予定）と違い、卒業するだけでは即資格取得とはいかない社会福祉士は、国家試験も受験せねばなりません。そこで各大学ではいろいろと受験対策をしていますが・・・。厚生労働省では、合格率

の大学別ランキングを示しており、ここでは合格率100%から0%までが明かされています。福祉系大学では学生が国家試験を突破するだけのモチベーションと学力を育むことについて、大学間格差がかなり大きいのだろくなあと思います。福祉系学部のなかの半分かうける大学は多い方で、全体の3分の1、4分の1、5分の1くらいしか受けない学校も多いのです。合格率が極めて低い福祉系大学の淘汰も法科大学院同様すすんでくるのでしょうか。社会福祉士が夢ある資格になるためには、社会的価値ある資格になるためには、社会にその「専門性」が認知されなければということになるのでしょうか。そういう意味ではスクールソーシャルワーカーに期待。

しかし、時給でいうとスクールソーシャルワーカーの相場は3000～3500円。スクールカウンセラーの時給は5000円前後。「高い」ようですが、実際には交通費込々であったり、休暇中は無給であったり、年間契約であったり、ほとんどが不安定職場です。それに「なんでワーカーのほうが時給安いのか？」